

令和6年度長野県商圏調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
17 ページ 9 行目	上位7市で、全商圏人口（ <u>4,076</u> 千人）の <u>54.6%</u> を占めている。	上位7市で、全商圏人口（ <u>4,021</u> 千人）の <u>55.3%</u> を占めている。
17 ページ 表 1	「旧更埴市（千曲市）」 <u>13</u> 位、商圏人口合計 <u>112,892</u> 、二次商圏人口 <u>77,229</u> 、増減率 <u>78.1</u> 、商圏構成市町村数における市町村数 <u>10</u> 、増減 <u>4</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>15</u> 位、商圏人口合計 <u>59,923</u> 、二次商圏人口 <u>24,260</u> 、増減率 <u>-5.5</u> 、商圏構成市町村数における市町村数 <u>4</u> 、増減 <u>-2</u>
	「塩尻市（合併前）」 <u>14</u> 位、「須坂市」 <u>15</u> 位	「塩尻市（合併前）」 <u>13</u> 位、「須坂市」 <u>14</u> 位
18 ページ 表 2	「旧更埴市（千曲市）」 <u>13</u> 位、令和6年度商圏人口 <u>112,892</u> 、増減率 <u>78.1</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>15</u> 位、令和6年度商圏人口 <u>59,923</u> 、増減率 <u>-5.5</u>
	「塩尻市（合併前）」 <u>14</u> 位、「須坂市」 <u>15</u> 位	「塩尻市（合併前）」 <u>13</u> 位、「須坂市」 <u>14</u> 位
18 ページ 1 行目	県内上位25市町村の商圏人口と前回調査を比べると、 <u>2</u> 市1町で商圏人口が増加、 <u>15</u> 市5町2村で商圏人口が減少している。特に、 <u>3</u> 市1町1村では、10%以上の増減がみられた（表2）。	県内上位25市町村の商圏人口と前回調査を比べると、 <u>1</u> 市1町で商圏人口が増加、 <u>16</u> 市5町2村で商圏人口が減少している。特に、 <u>2</u> 市1町1村では、10%以上の増減がみられた（表2）。
18 ページ 4 行目	<u>最も増加率が高い旧更埴市（千曲市）では、前回調査で商圏となっていなかった大町市（合併前）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 23.7%とするなど、商圏として1市1町4村を増やし、商圏人口が約5万人増加した。</u> 次に増加率が高い旧豊科町（安曇野市）では、前回調査で商圏となっていなかった旧安曇村（松本市）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 5.2%、白馬村（吸引率 4.8%）からの吸引率を 5.3%とし、商圏人口が約7千人増加した。 また3番目に増加率が高い松本市（合併前）では、旧高遠町（伊那市）（吸引率 1.5%）からの吸引率を 5.2%とするなど、1町3村を商圏に加えたことにより、商圏人口が約1万7千人増加した。	<u>（削除）</u>  最も増加率が高い旧豊科町（安曇野市）では、前回調査で商圏となっていなかった旧安曇村（松本市）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 5.2%、白馬村（吸引率 4.8%）からの吸引率を 5.3%とし、商圏人口が約7千人増加した。 次に、増加率が高い松本市（合併前）では、旧高遠町（伊那市）（吸引率 1.5%）からの吸引率を 5.2%とするなど、1町3村を商圏に加えたことにより、商圏人口が約1万7千人増加した。
19 ページ 図 1	長野県の商圏構造（概念図）内における旧更埴市（千曲市）の円のサイズ：商圏人口 <u>112,892</u>	長野県の商圏構造（概念図）内における旧更埴市（千曲市）の円サイズ：商圏人口 <u>59,923</u> に縮小
20 ページ 6 行目	また、3番目に減少率が高い旧臼田町（佐久市）では、前回商圏であった小海町 3.5%（前回吸引率 11.7%）、南牧村 3.4%（前回吸引率 6.0%）、南相木村 0.0%（前回吸引率 19.3%）が商圏外となったことから、商圏人口が約9千人減少した。	また、3番目に減少率が高い大町市（合併前）では、前回商圏であった松川村 4.7%（前回吸引率 8.8%）が商圏外となったことから、商圏人口が約1万1千人減少した。
20 ページ	減少率が最も高い大町市（合併前）の流出状況をみると、旧更埴	減少率が最も高い大町市（合併前）の流出状況をみると、無店舗

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正																																																																																
13 行目	市（千曲市）への流出率が 23.7%（前回調査 <u>0.0%</u> ）と前回よりも増加している。	販売への流出率が 23.7%（前回調査 <u>17.1%</u> ）と前回よりも増加している。																																																																																
20 ページ 16 行目	<u>55</u> 町村で減少がみられる。このうち、 <u>26</u> 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。	<u>53</u> 町村で減少がみられる。このうち、 <u>25</u> 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。																																																																																
20 ページ 19 行目	前回同様、過去最少の 2 町となった（図 2）。	前回よりも 1 村増え、 <u>3 町村</u> となった（図 2）。																																																																																
21 ページ 表 3	<table><tr><td>順位</td><td>市町村名</td><td>令和 6 年</td><td>増減</td><td>令和 3 年増減</td></tr><tr><td>5</td><td>佐久市（合併前）</td><td>81.5</td><td><u>-2.7</u></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>駒ヶ根市</td><td>54.4</td><td><u>-6.2</u></td><td></td></tr><tr><td>12</td><td>旧穂高町（安曇野市）</td><td>52.2</td><td><u>-0.2</u></td><td></td></tr><tr><td>18</td><td>塩尻市（合併前）</td><td></td><td></td><td><u>-4.2</u></td></tr><tr><td>23</td><td>軽井沢町</td><td>28.9</td><td><u>-4.8</u></td><td></td></tr><tr><td>25</td><td>富士見町</td><td>27.3</td><td><u>-2.1</u></td><td></td></tr><tr><td>29</td><td>旧堀金村（安曇野市）</td><td>23.4</td><td><u>2.5</u></td><td><u>-5.9</u></td></tr></table>	順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減	5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.7</u>		10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.2</u>		12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.2</u>		18	塩尻市（合併前）			<u>-4.2</u>	23	軽井沢町	28.9	<u>-4.8</u>		25	富士見町	27.3	<u>-2.1</u>		29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.5</u>	<u>-5.9</u>	<table><tr><td>順位</td><td>市町村名</td><td>令和 6 年</td><td>増減</td><td>令和 3 年増減</td></tr><tr><td>5</td><td>佐久市（合併前）</td><td>81.5</td><td><u>-2.6</u></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>駒ヶ根市</td><td>54.4</td><td><u>-6.3</u></td><td></td></tr><tr><td>12</td><td>旧穂高町（安曇野市）</td><td>52.2</td><td><u>-0.3</u></td><td></td></tr><tr><td>18</td><td>塩尻市（合併前）</td><td></td><td></td><td><u>-4.3</u></td></tr><tr><td>23</td><td>軽井沢町</td><td>28.9</td><td><u>-4.9</u></td><td></td></tr><tr><td>25</td><td>富士見町</td><td>27.3</td><td><u>-2.2</u></td><td></td></tr><tr><td>29</td><td>旧堀金村（安曇野市）</td><td>23.4</td><td><u>2.4</u></td><td><u>-5.8</u></td></tr></table>	順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減	5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.6</u>		10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.3</u>		12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.3</u>		18	塩尻市（合併前）			<u>-4.3</u>	23	軽井沢町	28.9	<u>-4.9</u>		25	富士見町	27.3	<u>-2.2</u>		29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.4</u>	<u>-5.8</u>
順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減																																																																														
5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.7</u>																																																																															
10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.2</u>																																																																															
12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.2</u>																																																																															
18	塩尻市（合併前）			<u>-4.2</u>																																																																														
23	軽井沢町	28.9	<u>-4.8</u>																																																																															
25	富士見町	27.3	<u>-2.1</u>																																																																															
29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.5</u>	<u>-5.9</u>																																																																														
順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減																																																																														
5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.6</u>																																																																															
10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.3</u>																																																																															
12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.3</u>																																																																															
18	塩尻市（合併前）			<u>-4.3</u>																																																																														
23	軽井沢町	28.9	<u>-4.9</u>																																																																															
25	富士見町	27.3	<u>-2.2</u>																																																																															
29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.4</u>	<u>-5.8</u>																																																																														
21 ページ 図 2	「30%以上 50%未満」令和 6 年度「 <u>2</u> 」 「50%以上 70%未満」令和 6 年度「 <u>3</u> 」	「30%以上 50%未満」令和 6 年度「 <u>3</u> 」 「50%以上 70%未満」令和 6 年度「 <u>2</u> 」																																																																																
22 ページ 9 行目	前回と比べると、市部では、旧更埴市（千曲市） <u>(90.7%)</u> で 24.2 ポイント増加した。	前回と比べると、 <u>市部では、増加した市が無かった。</u>																																																																																
22 ページ 14 行目	塩尻市（合併前）(46.0%) で 7.3 ポイント、上田市（合併前）(129.4%) で 8.1 ポイント、	塩尻市（合併前）(46.0%) で 7.3 ポイント、上田市（合併前）(129.6%) で 7.9 ポイント、旧更埴市（千曲市）(58.4%) で 8.1 ポイント、																																																																																
22 ページ 17 行目	17 市中、 <u>吸引力を高めたのは 1 市となり、16 市</u> において集客力が低下しているといえる。	17 市 <u>全てにおいて</u> 集客力が低下しているといえる。																																																																																
23 ページ 表 5	表 5 市町村別 <u>吸引係数</u> （上位 30 位）《全品目平均》の推移	表 5 市町村別 <u>吸引力係数</u> （上位 30 位）《全品目平均》の推移																																																																																
	「上田市（合併前）」令和 6 年吸引力係数 <u>129.4</u> 増減 <u>-8.1</u>	「上田市（合併前）」令和 6 年吸引力係数 <u>129.6</u> 増減 <u>-7.9</u>																																																																																
	「旧更埴市（千曲市）」 <u>12</u> 位、令和 6 年吸引力係数 <u>90.7</u> 、増減 <u>24.2</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>18</u> 位、令和 6 年吸引力係数 <u>58.4</u> 、増減 <u>-8.1</u>																																																																																
	「駒ヶ根市」 <u>13</u> 位、「飯山市」 <u>14</u> 位、「山形村」 <u>15</u> 位、「茅野市」 <u>16</u> 位、「旧木曽福島町（木曽町）」 <u>17</u> 位、「箕輪町」 <u>18</u> 位	「駒ヶ根市」 <u>12</u> 位、「飯山市」 <u>13</u> 位、「山形村」 <u>14</u> 位、「茅野市」 <u>15</u> 位、「旧木曽福島町（木曽町）」 <u>16</u> 位、「箕輪町」 <u>17</u> 位																																																																																

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
24 ページ 1 行目	4 商圈変動の類型 ～ <u>縮小商圈が約6割</u> を占める	4 商圈変動の類型 ～ <u>縮小商圈が約8割</u> を占める
24 ページ 2 行目	自市町村以外にも商圈を有する 17 市及び <u>25</u> 町村について、それぞれの商圈人口と吸引人口の増減率から商圈の変動状況进行分析すると、次のパターンに分類できる。 なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圈は前回よりもやや増加し、全体の約 <u>6</u> 割を占める結果となった。	自市町村以外にも商圈を有する 17 市及び <u>20</u> 町村について、それぞれの商圈人口と吸引人口の増減率から商圈の変動状況进行分析すると、次のパターンに分類できる。 なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圈は前回よりもやや増加し、全体の約 <u>8</u> 割を占める結果となった。
24 ページ 15 行目	I 『成長商圈』: <u>3</u> 市町村 ( <u>△7</u> ) <u>旧更埴市 (千曲市)</u>	I 『成長商圈』: <u>2</u> 町村 ( <u>△8</u> ) <u>&lt;削除&gt;</u>
24 ページ 22 行目	IV 『縮小商圈』: <u>28</u> 市町村 (+ <u>13</u> )	IV 『縮小商圈』: <u>29</u> 市町村 (+ <u>14</u> )
24 ページ 25 行目	茅野市、塩尻市 (合併前)、佐久市 (合併前)	茅野市、塩尻市 (合併前)、 <u>旧更埴市 (千曲市)</u> 、佐久市 (合併前)
25 ページ 図 3	商圈変動の類型 (17 市) における旧更埴市 (千曲市) の座標: 吸引人口増減率 <u>34.1%</u> 、商圈人口増減率 <u>78.1%</u>	商圈変動の類型 (17 市) における旧更埴市 (千曲市) の座標: 吸引人口増減率 <u>-13.7%</u> 、商圈人口増減率 <u>-5.5%</u>
26 ページ 3 行目	大桑村 (46.7%)、売木村 (46.3%)、南牧村 (33.2%)、川上村 (31.1%) の <u>6</u> 町村となる	大桑村 (46.7%)、売木村 (46.3%)、 <u>旧八坂村 (大町市) (35.2%)</u> 、南牧村 (33.2%)、川上村 (31.1%) の <u>7</u> 町村となる
26 ページ 5 行目	流出率が 5 % を超えるのは、 <u>19</u> 町村 (前回調査比 + <u>5</u> ) であった。 前回調査と比較すると、県外への流出率が増加した市町村数が <u>63</u> 市町村となり、減少した市町村数を上回っている。	流出率が 5 % を超えるのは、 <u>22</u> 町村 (前回調査比 + <u>8</u> ) であった。 前回調査と比較すると、県外への流出率が増加した市町村数が <u>66</u> 市町村となり、減少した市町村数を上回っている。
26 ページ 表 6	<u>5 位南牧村</u>	5 位 <u>旧八坂村 (大町市)</u> のデータを追加
	<u>6 位川上村、7 位栄村、8 位原村</u>	<u>6 位南牧村、7 位川上村、8 位栄村、</u>
	<u>9 位王滝村</u>	<u>9 位小谷村</u> のデータを追加
	<u>10 位旧三岳村 (木曽町)</u>	<u>10 位原村</u>
26 ページ	(31.2%) など <u>105</u> 市町村 (前回調査比 + <u>7</u> ) である。	(31.2%) など <u>110</u> 市町村 (前回調査比 + <u>10</u> ) である。

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
11 行目		
26 ページ 15 行目	で <u>106</u> 市町村（前回調査比 $\pm 2$ ）、衣料品で <u>95</u> 市町村（前回調査比 $\pm 4$ ）、飲食料品で 6 村（前回調査比 $\Delta 1$ ）であった。	で <u>111</u> 市町村（前回調査比 $\pm 7$ ）、衣料品で <u>100</u> 市町村（前回調査比 $\pm 9$ ）、飲食料品で 6 村（前回調査比 $\Delta 1$ ）であった。
26 ページ 図 5	無店舗販売利用率階級別市町村数の棒グラフデータ：令和 6 年度 5%～10% <u>23</u> 、10%以上 <u>82</u>	無店舗販売利用率階級別市町村数の棒グラフデータ：令和 6 年度 5%～10% <u>22</u> 、10%以上 <u>88</u>
28 ページ 9 行目	とほぼ同じ回答割合となるが、「割引等のサービスがある」が <u>2.9</u> ポイント、「購入手続きが簡単」が <u>2.5</u> ポイント、「商品情報がわかりやすい」が <u>1.3</u> ポイント増加している（図 10）。	とほぼ同じ回答割合となるが、「割引等のサービスがある」が <u>2.6</u> ポイント、「購入手続きが簡単」が <u>2.2</u> ポイント、「商品情報がわかりやすい」が <u>1.1</u> ポイント増加している（図 10）。
31 ページ 12 行目	中野市（合併前）（114 千人）、 <u>旧更埴市（千曲市）（113 千人）</u> の <u>4</u> 市となる。残りの <u>6</u> 市は 10 万人未満となる（表 1）。	中野市（合併前）（114 千人）の <u>3</u> 市となる。残りの <u>7</u> 市は 10 万人未満となる（表 1）。
31 ページ 14 行目	前回（令和 3 年度）調査と比較して商圈人口の伸び率が最も高かったのは、 <u>旧更埴市（千曲市）で<math>+78.1\%</math>、次に、松本市（合併前）<math>+2.9\%</math>と 2 市のみが増加している。反対に最も減少したのは、小諸市<math>\Delta 35.0\%</math>、大町市（合併前）<math>\Delta 23.5\%</math>、飯山市<math>\Delta 6.0\%</math>であった。</u>	前回（令和 3 年度）調査と比較して商圈人口が <u>伸びたのは、松本市（合併前）<math>+2.9\%</math>のみとなっている。反対に最も減少したのは、小諸市<math>\Delta 35.0\%</math>、大町市（合併前）<math>\Delta 23.5\%</math>、飯山市<math>\Delta 6.0\%</math>であった。</u>
31 ページ 18 行目	商圈を構成する市町村数が前回調査よりも増加した市は、 <u>旧更埴市（千曲市）（<math>+4</math>）、松本市（合併前）（<math>+2</math>）、上田市（合併前）（<math>+1</math>）、塩尻市（合併前）（<math>+1</math>）の 4 市であった。反対に減少した市は、長野市（合併前）（<math>\Delta 3</math>）、飯田市（合併前）（<math>\Delta 2</math>）、小諸市（<math>\Delta 2</math>）、佐久市（合併前）（<math>\Delta 2</math>）、伊那市（合併前）（<math>\Delta 1</math>）、大町市（合併前）（<math>\Delta 1</math>）の 6 市であった（表 2）。</u>	商圈を構成する市町村数が前回調査よりも増加した市は、松本市（合併前）（ $+2$ ）、上田市（合併前）（ $+1$ ）、塩尻市（合併前）（ $+1$ ）の <u>3</u> 市であった。反対に減少した市は、長野市（合併前）（ $\Delta 3$ ）、飯田市（合併前）（ $\Delta 2$ ）、小諸市（ $\Delta 2$ ）、佐久市（合併前）（ $\Delta 2$ ）、 <u>旧更埴市（千曲市）（<math>\Delta 2</math>）、伊那市（合併前）（<math>\Delta 1</math>）、大町市（合併前）（<math>\Delta 1</math>）の 7 市であった（表 2）。</u>
32 ページ 図 1	商圈人口 4 万人以上の市町における商圈人口の比較データ： 旧更埴市（千曲市）の令和 6 年度の商圈人口 <u>112,892</u>	商圈人口 4 万人以上の市町における商圈人口の比較データ： 旧更埴市（千曲市）の令和 6 年度の商圈人口 <u>59,923</u>
34 ページ 表 1 旧更埴市 （千曲市） データ	二次商圈商圈内市町村 <u>大町市（合併前）、麻績村、池田町</u> <u>松川村、旧美麻村（大町市）、白馬村</u> <u>小谷村、旧上山田町（千曲市）、旧戸倉町（千曲市）</u>	二次商圈商圈内市町村 麻績村、旧上山田町（千曲市）、旧戸倉町（千曲市）
	二次商圈商圈内市町村数及び商圈人口	二次商圈商圈内市町村数及び人口

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正																																																																																																						
	9 市町村、77,229	3 町村、24,260																																																																																																						
	商圏人口合計市町村数及び商圏人口 10 市町村、112,892	商圏人口合計市町村数及び商圏人口 4 市町村、59,923																																																																																																						
34 ページ 表 1	影響圏データ <table><tr><td colspan="2">商圏内市町村</td><td>計</td></tr><tr><td>長野市（合併前）</td><td></td><td>10,855</td></tr><tr><td>松本市（合併前）</td><td></td><td>218,064</td></tr><tr><td>上田市（合併前）</td><td>旧更埴市（千曲市）</td><td>3 市町村</td></tr><tr><td></td><td>旧望月町（佐久市）</td><td>49,927</td></tr><tr><td></td><td>旧浅科村（佐久市）</td><td></td></tr><tr><td>岡谷市</td><td></td><td>96,870</td></tr><tr><td>諏訪市</td><td></td><td>23,424</td></tr><tr><td>須坂市</td><td></td><td>8,736</td></tr><tr><td>小諸市</td><td></td><td>113,704</td></tr><tr><td>伊那市（合併前）</td><td></td><td>10,179</td></tr><tr><td>駒ヶ根市</td><td></td><td>12,411</td></tr><tr><td>中野市（合併前）</td><td></td><td>6,048</td></tr><tr><td>大町市（合併前）</td><td></td><td>18,843</td></tr><tr><td>塩尻市（合併前）</td><td></td><td>2,068</td></tr><tr><td>旧更埴市（千曲市）</td><td>旧八坂村（大町市）、 坂城町</td><td>2 町村 14,424</td></tr></table>	商圏内市町村		計	長野市（合併前）		10,855	松本市（合併前）		218,064	上田市（合併前）	旧更埴市（千曲市）	3 市町村		旧望月町（佐久市）	49,927		旧浅科村（佐久市）		岡谷市		96,870	諏訪市		23,424	須坂市		8,736	小諸市		113,704	伊那市（合併前）		10,179	駒ヶ根市		12,411	中野市（合併前）		6,048	大町市（合併前）		18,843	塩尻市（合併前）		2,068	旧更埴市（千曲市）	旧八坂村（大町市）、 坂城町	2 町村 14,424	影響圏データ <table><tr><td colspan="2">影響圏内市町村</td><td>計</td></tr><tr><td>長野市（合併前）</td><td></td><td>10,584</td></tr><tr><td>松本市（合併前）</td><td></td><td>213,109</td></tr><tr><td>上田市（合併前）</td><td>旧更埴市（千曲市）</td><td>5 市町村</td></tr><tr><td></td><td>旧望月町（佐久市）</td><td>58,261</td></tr><tr><td></td><td>旧浅科村（佐久市）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>白馬村</td><td></td></tr><tr><td></td><td>旧八坂村（大町市）</td><td></td></tr><tr><td>岡谷市</td><td></td><td>95,848</td></tr><tr><td>諏訪市</td><td></td><td>22,438</td></tr><tr><td>須坂市</td><td></td><td>8,527</td></tr><tr><td>小諸市</td><td></td><td>113,497</td></tr><tr><td>伊那市（合併前）</td><td></td><td>9,727</td></tr><tr><td>駒ヶ根市</td><td></td><td>12,023</td></tr><tr><td>中野市（合併前）</td><td></td><td>5,775</td></tr><tr><td>大町市（合併前）</td><td></td><td>18,333</td></tr><tr><td>塩尻市（合併前）</td><td></td><td>1,947</td></tr><tr><td>旧更埴市（千曲市）</td><td>坂城町</td><td>1 町、13,149</td></tr></table>	影響圏内市町村		計	長野市（合併前）		10,584	松本市（合併前）		213,109	上田市（合併前）	旧更埴市（千曲市）	5 市町村		旧望月町（佐久市）	58,261		旧浅科村（佐久市）			白馬村			旧八坂村（大町市）		岡谷市		95,848	諏訪市		22,438	須坂市		8,527	小諸市		113,497	伊那市（合併前）		9,727	駒ヶ根市		12,023	中野市（合併前）		5,775	大町市（合併前）		18,333	塩尻市（合併前）		1,947	旧更埴市（千曲市）	坂城町	1 町、13,149
商圏内市町村		計																																																																																																						
長野市（合併前）		10,855																																																																																																						
松本市（合併前）		218,064																																																																																																						
上田市（合併前）	旧更埴市（千曲市）	3 市町村																																																																																																						
	旧望月町（佐久市）	49,927																																																																																																						
	旧浅科村（佐久市）																																																																																																							
岡谷市		96,870																																																																																																						
諏訪市		23,424																																																																																																						
須坂市		8,736																																																																																																						
小諸市		113,704																																																																																																						
伊那市（合併前）		10,179																																																																																																						
駒ヶ根市		12,411																																																																																																						
中野市（合併前）		6,048																																																																																																						
大町市（合併前）		18,843																																																																																																						
塩尻市（合併前）		2,068																																																																																																						
旧更埴市（千曲市）	旧八坂村（大町市）、 坂城町	2 町村 14,424																																																																																																						
影響圏内市町村		計																																																																																																						
長野市（合併前）		10,584																																																																																																						
松本市（合併前）		213,109																																																																																																						
上田市（合併前）	旧更埴市（千曲市）	5 市町村																																																																																																						
	旧望月町（佐久市）	58,261																																																																																																						
	旧浅科村（佐久市）																																																																																																							
	白馬村																																																																																																							
	旧八坂村（大町市）																																																																																																							
岡谷市		95,848																																																																																																						
諏訪市		22,438																																																																																																						
須坂市		8,527																																																																																																						
小諸市		113,497																																																																																																						
伊那市（合併前）		9,727																																																																																																						
駒ヶ根市		12,023																																																																																																						
中野市（合併前）		5,775																																																																																																						
大町市（合併前）		18,333																																																																																																						
塩尻市（合併前）		1,947																																																																																																						
旧更埴市（千曲市）	坂城町	1 町、13,149																																																																																																						
35 ページ 表 2 旧更埴市 （千曲市） データ	二次商圏商圏 令和 6 年度 9 市町村、77,229  商圏人口 令和 6 年度 10 市町村、112,892  商圏人口 令和 6 年度増減 4、78.1	二次商圏商圏 令和 6 年度 3 町村、24,260  商圏人口 令和 6 年度 4 市町村、59,923  商圏人口 令和 6 年度増減 -2、-5.5																																																																																																						
36 ページ 表 3	影響圏データ <table><tr><td colspan="2">商圏内市町村</td><td>計</td></tr></table>	商圏内市町村		計	影響圏データ <table><tr><td colspan="2">影響圏内市町村</td><td>計</td></tr></table>	影響圏内市町村		計																																																																																																
商圏内市町村		計																																																																																																						
影響圏内市町村		計																																																																																																						

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
	<p>旧臼田町（佐久市）<u>7,496</u></p> <p>旧佐久町（佐久穂町）<u>4,985</u></p> <p>小海町<u>7,417</u></p> <p>立科町<u>4,647</u></p> <p>高森町<u>5,844</u></p> <p>旧木曽福島町（木曽町）<u>5,992</u></p> <p>旧日義村（木曽町）<u>4,034</u></p> <p>山形村<u>12,165</u></p> <p>旧豊科町（安曇野市）<u>37,255</u></p> <p>旧穂高町（安曇野市）<u>9,167</u></p> <p>旧梓川村（松本市）<u>15,014</u></p> <p>池田町<u>4,077</u></p>	<p>旧臼田町（佐久市）<u>7,401</u></p> <p>旧佐久町（佐久穂町）<u>4,810</u></p> <p>小海町<u>7,846</u></p> <p>立科町<u>4,539</u></p> <p>高森町<u>5,626</u></p> <p>旧木曽福島町（木曽町）<u>5,510</u></p> <p>旧日義村（木曽町）<u>3,749</u></p> <p>山形村<u>12,017</u></p> <p>旧豊科町（安曇野市）<u>35,974</u></p> <p>旧穂高町（安曇野市）<u>9,064</u></p> <p>旧梓川村（松本市）<u>14,831</u></p> <p>池田町<u>4,028</u></p>
38 ページ 11 行目	<p>前回調査と比較すると、地元滞留率が増加している市はなく、諏訪市は、増減がない。一方、16 市は地元滞留率が減少している。特に、大町市（合併前）（△13.5 ポイント）、飯山市（△6.4 ポイント）、<u>岡谷市（△6.2 ポイント）、駒ヶ根市（△6.2 ポイント）</u>は減少率が5 ポイントを超えている。</p>	<p>前回調査と比較すると、地元滞留率が増加している市はなく、諏訪市は、増減がない。一方、16 市は地元滞留率が減少している。特に、大町市（合併前）（△13.5 ポイント）、飯山市（△6.4 ポイント）、<u>駒ヶ根市（△6.3 ポイント）、岡谷市（△6.2 ポイント）</u>は減少率が5 ポイントを超えている。</p>
38 ページ 21 行目	<p>反対に減少したのは、<u>54</u> 町村となる。このうち、10 ポイント以上の減少となったのは、</p>	<p>反対に減少したのは、<u>53</u> 町村となる。このうち、10 ポイント以上の減少となったのは、</p>
39 ページ 表 6	<p>地元滞留率「10%未満」、減少率「<u>0 ポイント超 2 ポイント未満</u>」の真田町（上田市）</p>	<p>地元滞留率「10%未満」、減少率「<u>増減なし±0 ポイント</u>」の真田町（上田市）</p>
	<p>減少率「2 ポイント超 5 ポイント未満」の合計「<u>28</u>」、増減なし±0 ポイント」の合計「<u>18</u>」</p>	<p>減少率「2 ポイント超 5 ポイント未満」の合計「<u>27</u>」、増減なし±0 ポイント」の合計「<u>19</u>」</p>
	<p>地元滞留率「10%以上」、減少率「<u>2 ポイント超 5 ポイント未満</u>」の旧三郷村（安曇野市）</p>	<p>地元滞留率「10%以上」、減少率「<u>0 ポイント超 2 ポイント未満</u>」の旧三郷村（安曇野市）</p>
	<p>地元滞留率「10%未満」、減少率「<u>0 ポイント超 2 ポイント未満</u>」の飯島町</p>	<p>地元滞留率「10%未満」、減少率「<u>増減なし±0 ポイント</u>」の飯島町</p>
	<p>地元滞留率「10%未満」、減少率「<u>増減なし±0 ポイント</u>」の中川村</p>	<p>地元滞留率「10%未満」、減少率「<u>0 ポイント超 2 ポイント未満</u>」の中川村</p>
41 ページ	<p>前回調査と比べて増加した<u>のは、旧更埴市（千曲市）（32 千人）</u></p>	<p>前回調査と比べて増加した<u>市は無く、17 市全てが減少していた。</u></p>

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
8 行目	で+34.1 ポイントで1市であった。一方、16市は減少していた。特に減少幅が大きかったのは、大町市（合併前）（11千人）で△29.9 ポイントであった。次に、塩尻市（合併前）（29千人）△15.1 ポイント、茅野市（35千人）△14.2 ポイント、小諸市（17千人）△13.2 ポイント、岡谷市（44千人）△12.8 ポイント、駒ヶ根市（24千人）△12.1 ポイント、飯山市（12千人）△11.6 ポイント、飯田市（合併前）（112千人）△10.7 ポイントとなっている（表7）。	特に減少幅が大きかったのは、大町市（合併前）（11千人）で△29.9 ポイントであった。次に、塩尻市（合併前）（29千人）△15.1 ポイント、茅野市（35千人）△14.2 ポイント、 <u>旧更埴市（千曲市）（21千人）△13.7 ポイント</u> 、小諸市（17千人）△13.2 ポイント、岡谷市（44千人）△12.8 ポイント、駒ヶ根市（24千人）△12.1 ポイント、飯山市（12千人）△11.6 ポイント、飯田市（合併前）（112千人）△10.7 ポイントとなっている（表7）。
41 ページ 23 行目	市部で100%を超えたのは、佐久市（合併前）（185.1%）、伊那市（合併前）（139.3%）、松本市（合併前）（133.5%）、上田市（合併前）（ <u>129.4%</u> ）、飯田市（合併前）（122.0%）、長野市（合併前）（113.0%）、中野市（合併前）（108.6%）の <u>7市</u> である。	市部で100%を超えたのは、佐久市（合併前）（185.1%）、伊那市（合併前）（139.3%）、松本市（合併前）（133.5%）、上田市（合併前）（ <u>129.6%</u> ）、飯田市（合併前）（122.0%）、長野市（合併前）（113.0%）、中野市（合併前）（108.6%）、諏訪市（107.7%）の <u>8市</u> である。
41 ページ 26 行目	前回調査と比較して、吸引力係数が増加している市は、 <u>旧更埴市（千曲市）（+24.2 ポイント）の1市となる。一方、減少している市は、大町市（合併前）（△17.3 ポイント）、岡谷市（△10.3 ポイント）などの16市となる。</u>	前回調査と比較して、吸引力係数が増加している市は <u>無かった</u> 。
42 ページ 表7	旧更埴市（千曲市）のプロット 吸引人口増減 増加 10 ポイント以上 50 ポイント未満 吸引人口 2 万人以上	旧更埴市（千曲市）のプロット 吸引人口増減 減少 10 ポイント以上 50 ポイント未満 吸引人口 2 万人以上
	吸引人口増減率の合計データ： 減少 50 ポイント以上 18 10 ポイント以上 50 ポイント未満 1 5 ポイント以上 10 ポイント未満 0 0 ポイント超 5 ポイント未満 0 増減なし±0 20 増加 0 ポイント超 5 ポイント未満 0 5 ポイント以上 10 ポイント未満 0 10 ポイント以上 50 ポイント未満 1 50 ポイント以上 0	吸引人口増減率の合計データ： 減少 50 ポイント以上 19 10 ポイント以上 50 ポイント未満 34 5 ポイント以上 10 ポイント未満 13 0 ポイント超 5 ポイント未満 6 増減なし±0 21 増加 0 ポイント超 5 ポイント未満 6 5 ポイント以上 10 ポイント未満 1 10 ポイント以上 50 ポイント未満 8 50 ポイント以上 8

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
43 ページ 表 8	旧更埴市（千曲市）のプロット 吸引力係数増減 増加 10 ポイント以上 50 ポイント未満 吸引力係数 80 以上	旧更埴市（千曲市）のプロット 吸引力係数増減 減少 5 ポイント以上 10 ポイント未満 吸引力係数 50 以上
43 ページ 表 8	吸引力係数の増減の合計データ： 減少 5 ポイント以上 10 ポイント未満 18 増加 10 ポイント以上 50 ポイント未満 4	吸引力係数の合計データ： 減少 5 ポイント以上 10 ポイント未満 19 増加 10 ポイント以上 50 ポイント未満 3
	吸引力係数の合計データ： 80 以上 2 50 以上 7	吸引力係数の合計データ： 80 以上 1 50 以上 8
44 ページ 図 4	市町村吸引力係数《全品目平均》 旧更埴市（千曲市）の色付け 90.7	市町村吸引力係数《全品目平均》 旧更埴市（千曲市）の色付け 58.4
45 ページ 図 6	旧更埴市（千曲市）のプロット 吸引力係数 90.7 比較増減 24.2	旧更埴市（千曲市）のプロット 吸引力係数 58.4 比較増減 -8.1
46 ページ 図 7	旧更埴市（千曲市）のデータ 商圈人口 112,892 前回調査比 78.1 吸引人口 32,348 前回調査比 34.1 吸引力係数 90.7 前回調査比 24.2	旧更埴市（千曲市）のデータ 商圈人口 59,923 前回調査比-5.5 吸引人口 20,811 前回調査比-13.7 吸引力係数 58.4 前回調査比-8.1
	旧更埴市（千曲市）の商圈の円データ： 商圈人口 112,892	旧更埴市（千曲市）の商圈の円データ： 商圈人口 59,923
46 ページ 図下文章 左 22 行目	・木島平村は、飯山市・の一次商圈、長野市（合併前）中野市（合併前）の二次商圈に含まれる。	・木島平村は、飯山市の一次商圈、長野市（合併前）・中野市（合併前）の二次商圈に含まれる。
46 ページ 図下文章 右 20 行目	・旧豊田村（中野市）は、中野市（合併前）の一次商圈、長野市（合併前）の二次商圈、飯山市の二次商圈に含まれる。	・旧豊田村（中野市）は、中野市（合併前）の一次商圈、長野市（合併前）・飯山市の二次商圈に含まれる。
52 ページ	エ) 新たに中野市（合併前）商圈に加わった市町村	エ) 新たに中野市（合併前）商圈に加わった市町村

令和6年度長野県商圏調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
31 行目	飯山市（吸引率 <u>6%</u> ）	飯山市（吸引率 <u>6.0%</u> ）
56 ページ 《全品目平均》	<p>(ア) 商圏人口 <u>112,892 人</u>（前回調査比 <u>+78.1%</u>）</p> <p>(イ) 商圏内市町村数 <u>10 市町村</u>（前回調査比 <u>+4</u>）</p> <p>(ウ) 旧更埴市（千曲市）商圏から外れた市町村 旧坂北村（筑北村） 旧大岡村（長野市）（データなし）</p> <p>(エ) 新たに旧更埴市（千曲市）商圏に加わった市町村 <u>大町市（合併前）（吸引率 23.7%）、池田町（吸引率 17.7%）、</u> <u>松川村（吸引率 24.1%）、旧美麻村（大町市）（吸引率 21.1%）、</u> <u>白馬村（吸引率 20.5%）、小谷村（吸引率 13.0%）</u></p> <p>(オ) 地元滞留率 43.2%（前回調査比△5.4 ポイント）</p> <p>(カ) 主な流出先 長野市（合併前）（流出率 40.3%）</p> <p>(キ) 吸引人口 <u>32,348 人</u>（前回調査比 <u>+34.1%</u>）</p> <p>(ク) 吸引力係数 <u>90.7%</u>（前回調査比 <u>+24.2</u> ポイント）</p>	<p>(ア) 商圏人口 <u>59,923 人</u>（前回調査比△5.5%）</p> <p>(イ) 商圏内市町村数 <u>4 市町村</u>（前回調査比△2）</p> <p>(ウ) 旧更埴市（千曲市）商圏から外れた市町村 旧坂北村（筑北村） 旧大岡村（長野市）（データなし）</p> <p>(エ) 新たに旧更埴市（千曲市）商圏に加わった市町村 <u>&lt;該当なし&gt;</u></p> <p>(オ) 地元滞留率 43.2%（前回調査比△5.4 ポイント）</p> <p>(カ) 主な流出先 長野市（合併前）（流出率 40.3%）</p> <p>(キ) 吸引人口 <u>20,811 人</u>（前回調査比△13.7%）</p> <p>(ク) 吸引力係数 <u>58.4%</u>（前回調査比△8.1 ポイント）</p>
56 ページ 《衣料品》	<p>(ア) 商圏人口 <u>112,892 人</u>（前回調査比 <u>+85.4%</u>）</p> <p>(イ) 商圏内市町村数 <u>10 市町村</u>（前回調査比 <u>+5</u>）</p> <p>(ウ) 旧更埴市（千曲市）商圏から外れた市町村 旧坂北村（筑北村） 旧大岡村（長野市）（データなし）</p> <p>(エ) 新たに旧更埴市（千曲市）商圏に加わった市町村 <u>大町市（合併前）（吸引率 24.0%）、麻績村（吸引率 10.3%）、</u> <u>池田町（吸引率 25.2%）、松川村（吸引率 17.4%）、</u> <u>旧美麻村（大町市）（吸引率 80.0%）、白馬村（吸引率 21.8%）、</u> <u>小谷村（吸引率 13.2%）</u></p> <p>(オ) 地元滞留率 26.6%（前回調査比△8.6 ポイント）</p> <p>(カ) 主な流出先 長野市（合併前）（流出率 50.4%）、</p> <p>(キ) 吸引人口 <u>27,526 人</u>（前回調査比 <u>+47.4%</u>）</p> <p>(ク) 吸引力係数 <u>77.2%</u>（前回調査比 <u>+25.7</u> ポイント）</p>	<p>(ア) 商圏人口 <u>59,923 人</u>（前回調査比△1.6%）</p> <p>(イ) 商圏内市町村数 <u>4 市町村</u>（前回調査比△1）</p> <p>(ウ) 旧更埴市（千曲市）商圏から外れた市町村 旧坂北村（筑北村） 旧大岡村（長野市）（データなし）</p> <p>(エ) 新たに旧更埴市（千曲市）商圏に加わった市町村 麻績村（吸引率 10.3%）、</p> <p>(オ) 地元滞留率 26.6%（前回調査比△8.6 ポイント）</p> <p>(カ) 主な流出先 長野市（合併前）（流出率 50.4%）、</p> <p>(キ) 吸引人口 <u>15,342 人</u>（前回調査比△17.8%）</p> <p>(ク) 吸引力係数 <u>43.0%</u>（前回調査比△8.5 ポイント）</p>
57 ページ 図 28	旧更埴市（千曲市）グラフデータ商圏人口 <u>112,892</u>	旧更埴市（千曲市）グラフデータ商圏人口 <u>59,923</u>
57 ページ	旧更埴市（千曲市）グラフデータ吸引力係数	旧更埴市（千曲市）グラフデータ吸引力係数

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
図 29	<u>90.7</u>	<u>58.4</u>
57 ページ 図 30	旧更埴市（千曲市）の商圈色付けあり <u>小谷村、白馬村、大町市（合併前）、旧美麻村、池田町、松川村</u> 旧更埴市（千曲市）、旧戸倉町、旧上山田町、麻績村	旧更埴市（千曲市）の商圈色付けあり 旧更埴市（千曲市）、旧戸倉町、旧上山田町、麻績村
57 ページ 図 31	旧更埴市（千曲市）の商圈色付けあり <u>小谷村、白馬村、大町市（合併前）、旧美麻村、池田町、松川村</u> 旧更埴市（千曲市）、旧戸倉町、旧上山田町、麻績村	旧更埴市（千曲市）の商圈色付けあり 旧更埴市（千曲市）、旧戸倉町、旧上山田町、麻績村
59 ページ 図 35	上田市（合併前） 吸引人口 <u>151,812</u> 前回調査比 <u>-7.8%</u> 吸引力係数 <u>129.4%</u> 前回調査比 <u>-8.19</u> ポイント	上田市（合併前） 吸引人口 <u>152,061</u> 前回調査比 <u>-7.7%</u> 吸引力係数 <u>129.6%</u> 前回調査比 <u>-7.9</u> ポイント
60 ページ 1 行目	東信地区の3市と自町村以外にも商圈を有する <u>7</u> 町の、《全品目平均》《衣料品》《飲食料品》について、	東信地区の3市と自町村以外にも商圈を有する <u>6</u> 町の、《全品目平均》《衣料品》《飲食料品》について、
60 ページ 14 行目	《全品目平均》（図 36、図 37、図 38） （キ）吸引人口 <u>151,812</u> 人（前回調査比△ <u>7.8%</u> ） （ク）吸引力係数 <u>129.4%</u> （前回調査比△ <u>8.1</u> ポイント）	《全品目平均》（図 36、図 37、図 38） （キ）吸引人口 <u>152,061</u> 人（前回調査比△ <u>7.7%</u> ） （ク）吸引力係数 <u>129.6%</u> （前回調査比△ <u>7.9</u> ポイント）
60 ページ 26 行目	《衣料品》（図 39） （キ）吸引人口 <u>154,279</u> 人（前回調査比△ <u>13.6%</u> ） （ク）吸引力係数 <u>131.5%</u> （前回調査比△ <u>17.6</u> ポイント）	《衣料品》（図 39） （キ）吸引人口 <u>154,641</u> 人（前回調査比△ <u>13.4%</u> ） （ク）吸引力係数 <u>131.8%</u> （前回調査比△ <u>17.3</u> ポイント）
61 ページ 図 36	吸引人口 令和6年 <u>151,812</u>	吸引人口 令和6年 <u>152,061</u>
61 ページ 図 37	吸引力係数 令和6年 <u>129.4</u>	吸引力係数 令和6年 <u>129.6</u>
74 ページ 図下文章 左2行目	・大町市（合併前）は、松本市（合併前）・旧更埴市（千曲市）の二次商圈、旧穂高町（安曇野市）の三次商圈に含まれる。	・大町市（合併前）は、松本市（合併前）の二次商圈、旧穂高町（安曇野市）の三次商圈に含まれる。
74 ページ 図下文章 左26行目	・旧四賀村（松本市）は、松本市（合併前）の一次商圈、旧穂高町（安曇野市）の二次商圈に含まれる。	・旧四賀村（松本市）は、松本市（合併前）の一次商圈、旧穂高町（安曇野市）・旧豊科町（安曇野市）の二次商圈に含まれる。
74 ページ	・生坂村は、旧穂高町（安曇野市）・旧豊科町（安曇野市）・松本市	・生坂村は、松本市（合併前）・旧穂高町（安曇野市）・旧豊科町（安

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
図下文章 右4行目	<u>(合併前)</u> の二次商圈、池田町の三次商圈に含まれる。	曇野市)の二次商圈、池田町の三次商圈に含まれる。
74 ページ 図下文章 右21行目	・池田町は、松本市(合併前)・旧豊科町(安曇野市)・ <u>旧更埴市(千曲市)</u> ・旧穂高町(安曇野市)の二次商圈に含まれる。	・池田町は、松本市(合併前)・旧豊科町(安曇野市)・旧穂高町(安曇野市)の二次商圈に含まれる。
74 ページ 図下文章 右23行目	・松川村は、 <u>旧更埴市(千曲市)</u> ・旧穂高町(安曇野市)・松本市(合併前)の二次商圈、旧豊科町(安曇野市)・池田町の三次商圈に含まれる。	・松川村は、旧穂高町(安曇野市)・松本市(合併前)の二次商圈、旧豊科町(安曇野市)・池田町の三次商圈に含まれる。
74 ページ 図下文章 右27行目	・旧美麻村(大町市)は、大町市(合併前)の一次商圈、 <u>旧更埴市(千曲市)</u> の二次商圈、長野市(合併前)・松本市(合併前)・旧穂高町(安曇野市)の三次商圈に含まれる。	・旧美麻村(大町市)は、大町市(合併前)の一次商圈、長野市(合併前)・松本市(合併前)・旧穂高町(安曇野市)の三次商圈に含まれる。
74 ページ 図下文章 右30行目	・白馬村は、長野市(合併前)・ <u>旧更埴市(千曲市)</u> の二次商圈、松本市(合併前)・大町市(合併前)・旧豊科町(安曇野市)の三次商圈に含まれる。	・白馬村は、長野市(合併前)の二次商圈、松本市(合併前)・大町市(合併前)・旧豊科町(安曇野市)の三次商圈に含まれる。
74 ページ 図下文章 右32行目	・小谷村は、長野市(合併前)の一次商圈、白馬村・ <u>旧更埴市(千曲市)</u> の二次商圈、大町市(合併前)の三次商圈に含まれる。	・小谷村は、長野市(合併前)の一次商圈、白馬村の二次商圈、大町市(合併前)の三次商圈に含まれる。
78 ページ 図72	松本市(合併前) 商圈 《飲食料品》 旧奈川村(松本市) <u>一次商圈(30%以上 60%未満)</u>	松本市(合併前) 商圈 《飲食料品》 旧奈川村(松本市) <u>商圈外(白地)</u>
79 ページ 11 行目	(カ) 主な流出先 松本市(合併前)(流出率 19.0%)、 <u>旧更埴市(千曲市)</u> (流出率 23.7%)、	(カ) 主な流出先 松本市(合併前)(流出率 19.0%)、 <u>無店舗販売</u> (流出率 23.7%)、
79 ページ 24 行目	(カ) 主な流出先 松本市(合併前)(流出率 20.0%) <u>旧更埴市(千曲市)</u> (流出率 24.0%)	(カ) 主な流出先 松本市(合併前)(流出率 20.0%) <u>無店舗販売</u> (流出率 24.0%)
90 ページ 33 行目	《飲食料品》(図97) (カ) 主な流出 旧三郷村(安曇野市)(流出率 <u>14%</u> )	《飲食料品》(図97) (カ) 主な流出 旧三郷村(安曇野市)(流出率 <u>14.0%</u> )
96 ページ 11 行目	(カ) 主な流出先 松本市(合併前)(流出率 20.0%)、 <u>旧更埴市(千曲市)</u> (流出率 17.7%)、	(カ) 主な流出先 松本市(合併前)(流出率 20.0%)、 <u>無店舗販売</u> (流出率 17.7%)、
96 ページ	カ) 主な流出先	カ) 主な流出先

令和6年度長野県商圏調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
27 行目	旧更埴市（千曲市）（流出率 20.5%）、旧豊科町（安曇野市）（流出率 5.3%）	無店舗販売（流出率 20.5%）、旧豊科町（安曇野市）（流出率 5.3%）、その他県内（6.3%）
98 ページ 図下文章 左 12 行目	・旧高遠町（伊那市）は、伊那市（合併前）の一次商圏に含まれる。	・旧高遠町（伊那市）は、伊那市（合併前）の一次商圏、 <u>松本市（合併前）の三次商圏</u> に含まれる。
98 ページ 図下文章 左 21 行目	・中川村は、飯田市（合併前）・高森町・ <u>駒ヶ根市</u> ・松川町の二次商圏に含まれる。	・中川村は、飯田市（合併前）・ <u>駒ヶ根市</u> ・高森町・松川町の二次商圏に含まれる。
103 ページ 21 行目	《衣料品》（図 124） （カ）主な流出先 諏訪市（流出率 <u>13.6%</u> ）	《衣料品》（図 124） （カ）主な流出先 諏訪市（流出率 <u>13.8%</u> ）
113 ページ 21 行目	《衣料品》（図 144） （オ）地元滞留率 33.7%（前回調査比△ <u>6.63</u> ポイント）	《衣料品》（図 144） （オ）地元滞留率 33.7%（前回調査比△ <u>6.6</u> ポイント）
119 ページ 4 行目	大桑村（46.7%）、売木村（46.3%）、川上村（31.1%）、を加えた <u>5</u> 町村は、県外市町村の一次商圏を構成している。	大桑村（46.7%）、売木村（46.3%）、 <u>旧八坂村（大町市）（35.2%）、南牧村（33.2%）、川上村（31.1%）、を加えた 7 町村は、</u> 県外市町村の一次商圏を構成している。
119 ページ 6 行目	県外市町村の二次商圏となっているのは栄村（19.5%）、原村（12.2%）、王滝村（10.5%）の <u>3</u> 村、三次商圏となっているのは、旧三岳村（木曽町）（9.7%）、南相木村（7.1%）、富士見町（6.8%）、松川町（6.8%）、上松町（6.8%）、茅野市（6.3%）、旧坂北村（筑北市）（6.2%）、野沢温泉村（5.7%）、旧浪合村（阿智村）（5.6%）、信濃町（5.2%）の <u>10</u> 市町村となる。	県外市町村の二次商圏となっているのは栄村（19.5%）、 <u>小谷村（16.8%）、原村（12.2%）、王滝村（10.5%）の 4 村</u> 、三次商圏となっているのは、旧三岳村（木曽町）（9.7%）、南相木村（7.1%）、富士見町（6.8%）、松川町（6.8%）、上松町（6.8%）、茅野市（6.3%）、旧坂北村（筑北市）（6.2%）、野沢温泉村（5.7%）、旧浪合村（阿智村）（5.6%）、 <u>旧美麻村（大町市）（5.3%）、信濃町（5.2%）の 11 市町村となる。</u>
119 ページ 14 行目	県外市町村の商圏となっている（県外流出率 5 % 以上）県内市町村は、合計で <u>19</u> 市町村と、前回より <u>5</u> 市町村増加している。また、県外商圏の影響圏に属する市町村は合計 <u>49</u> 市町村で、前回より <u>20</u> 市町村増加した。 前回調査と比較して、今回調査の流出率の増減をみると、増加したのは <u>63</u> 市町村、減少が <u>36</u> 市町村、増減がなかったのは <u>17</u> 市町村であった。このうち、2 ポイント以上の増減をみると、増加が <u>26</u>	県外市町村の商圏となっている（県外流出率 5 % 以上）県内市町村は、合計で <u>22</u> 市町村と、前回より <u>8</u> 市町村増加している。また、県外商圏の影響圏に属する市町村は合計 <u>52</u> 市町村で、前回より <u>23</u> 市町村増加した。 前回調査と比較して、今回調査の流出率の増減をみると、増加したのは <u>66</u> 市町村、減少が <u>32</u> 市町村、増減がなかったのは <u>18</u> 市町村であった。このうち、2 ポイント以上の増減をみると、増加が

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
	<p>町村、減少が <u>12</u> 町村となる。</p> <p>5 ポイント以上の県外への流出率の増減をみると、増加したのは、売木村 (46.3%) が 46.3 ポイント、根羽村 (73.7%) が 43.7 ポイント、<u>南木曾町 (87.7%) が 14.8 ポイント、など 11 町村</u>であった。一方、5 ポイント以上減少したのは、信濃町 (5.2%) が △8.4 ポイント、旧八坂村 (大町市) (0.0%) が △8.0 ポイント、旧美麻村 (大町市) (0.0%) が △5.6 ポイントと <u>3 町村</u>であった。</p>	<p><u>29</u> 町村、減少が <u>10</u> 町村となる。</p> <p>5 ポイント以上の県外への流出率の増減をみると、増加したのは、売木村 (46.3%) が 46.3 ポイント、根羽村 (73.7%) が 43.7 ポイント、<u>旧八坂村 (大町市) (35.2%) が 27.2 ポイント、など 14 町村</u>であった。一方、5 ポイント以上減少したのは、信濃町 (5.2%) が △8.4 ポイントの <u>1 町</u>であった。</p>
120 ページ 図 154	<p>県内消費者の県外への流出データ：</p> <p>旧八坂村 (大町市)    <u>0.0%</u>    色付けなし</p> <p>旧美麻村 (大町市)    <u>0.0%</u>    色付けなし</p> <p>小谷村                    <u>0.0%</u>    色付けなし</p>	<p>県内消費者の県外への流出</p> <p>旧八坂村 (大町市)    <u>35.2%</u>    一次商圈 (30%以上 60%未満)</p> <p>旧美麻村 (大町市)    <u>5.3%</u>    三次商圈 (5%以上 10%未満)</p> <p>小谷村                    <u>16.8%</u>    二次商圈 (10%以上 30%未満)</p>
121 ページ 8 行目	<p>30%以上を占めた市町村は、「衣料品」で旧奈川村 (松本市) (100.0%)、北相木村 (37.5%)、旧上山田町 (千曲市) (34.7%)、旧清内路村 (阿智村) (33.3%)、「身の回り品」で旧清内路村 (阿智村) (100.0%)、旧奈川村 (松本市) (100.0%)、王滝村 (66.7%)、北相木村 (50.0%)、旧長門町 (長和町) (47.6%)、富士見町 (44.3%)、旧開田村 (木曾町) (40.7%)、松川町 (37.5%)、旧上山田町 (千曲市) (37.0%)、辰野町 (36.7%)、飯島町 (33.3%)、旧浪合村 (阿智村) (33.3%)、泰阜村 (33.3%)、旧三岳村 (木曾町) (33.3%)、小川村 (32.4%)、岡谷市 (32.0%)、旧檜川村 (塩尻市) (31.8%)、下諏訪町 (31.0%)、旧梓川村 (松本市) (30.9%)、麻績村 (30.4%)、「文化品」で王滝村 (83.3%)、旧奈川村 (松本市) (66.7%)、旧清内路村 (阿智村) (60.0%)、旧浪合村 (阿智村) (45.5%)、旧開田村 (木曾町) (44.4%)、北相木村 (42.1%)、旧檜川村 (塩尻市) (38.3%)、富士見町 (34.7%)、旧長門町 (長和町) (31.0%)、「飲食料品」では該当する市町村が無い。</p>	<p>30%以上を占めた市町村は、「衣料品」で旧奈川村 (松本市) (100.0%)、<u>旧美麻村 (大町市) (80.0%)</u>、北相木村 (37.5%)、旧上山田町 (千曲市) (34.7%)、旧清内路村 (阿智村) (33.3%)、「身の回り品」で旧清内路村 (阿智村) (100.0%)、旧奈川村 (松本市) (100.0%)、王滝村 (66.7%)、北相木村 (50.0%)、旧長門町 (長和町) (47.6%)、富士見町 (44.3%)、旧開田村 (木曾町) (40.7%)、<u>松川村 (37.9%)、大町市 (合併前) (37.8%)</u>、松川町 (37.5%)、旧上山田町 (千曲市) (37.0%)、辰野町 (36.7%)、飯島町 (33.3%)、旧浪合村 (阿智村) (33.3%)、泰阜村 (33.3%)、旧三岳村 (木曾町) (33.3%)、小川村 (32.4%)、岡谷市 (32.0%)、旧檜川村 (塩尻市) (31.8%)、下諏訪町 (31.0%)、旧梓川村 (松本市) (30.9%)、麻績村 (30.4%)、「文化品」で王滝村 (83.3%)、旧奈川村 (松本市) (66.7%)、旧清内路村 (阿智村) (60.0%)、旧浪合村 (阿智村) (45.5%)、旧開田村 (木曾町) (44.4%)、北相木村 (42.1%)、旧檜川村 (塩尻市) (38.3%)、富士見町 (34.7%)、<u>松川村 (32.6%)、大町市 (合併前) (31.3%)</u>、旧長門町 (長和町) (31.0%)、「飲食料品」では該当する市町村が無い。</p>
121 ページ 19 行目	<p>また、前回調査と比較すると、全品目平均及び6商品群中、「<u>飲食料品</u>」、「日用品」の2商品群を除き、増加した市町村数が減少した市町村数を上回った。</p>	<p>また、前回調査と比較すると、全品目平均及び6商品群<u>いずれも</u>、増加した市町村数が減少した市町村数を上回った。</p>

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
121 ページ 25 行目	<p>最も無店舗販売の利用割合が高いのは、旧奈川村（松本市）（92.3%）で、次いで、王滝村（52.6%）、旧清内路村（阿智村）（42.9%）、北相木村（35.4%）、旧開田村（木曽町）（31.2%）、富士見町（27.3%）、旧三岳村（木曽町）（25.8%）、旧檜川村（塩尻市）（25.5%）、旧上山田町（千曲市）（24.5%）、旧長門町（長和町）（23.3%）、旧浪合村（阿智村）（22.2%）、旧本城村（筑北村）（21.6%）、旧戸隠村（長野市）（21.1%）、麻績村（20.1%）、松川町（20.0%）が2割を超えている。さらに、喬木村（19.1%）、辰野町（18.9%）、飯島町（18.9%）などと続き、<u>82</u>市町村で10%以上となっている。</p> <p>無店舗販売の利用が5%以上を占める市町村は、合計 <u>105</u> 市町村（前回比+7）と前回よりもさらに増加している。</p> <p>2%以上の市町村をみると、<u>107</u> 市町村（前回調査比-7）と前回よりやや減少したものの、ほぼ全県が無店舗販売の影響圏にある（図 155）。</p>	<p>最も無店舗販売の利用割合が高いのは、旧奈川村（松本市）（92.3%）で、次いで、王滝村（52.6%）、旧清内路村（阿智村）（42.9%）、北相木村（35.4%）、旧開田村（木曽町）（31.2%）、富士見町（27.3%）、旧三岳村（木曽町）（25.8%）、旧檜川村（塩尻市）（25.5%）、旧上山田町（千曲市）（24.5%）、<u>松川村（24.1%）、大町市（合併前）（23.7%）、旧長門町（長和町）（23.3%）、旧浪合村（阿智村）（22.2%）、旧本城村（筑北村）（21.6%）、旧美麻村（大町市）（21.1%）、旧戸隠村（長野市）（21.1%）、白馬村（20.5%）、麻績村（20.1%）、松川町（20.0%）</u>が2割以上となる。さらに、喬木村（19.1%）、辰野町（18.9%）、飯島町（18.9%）などと続き、<u>88</u>市町村で10%以上となっている。</p> <p>無店舗販売の利用が5%以上を占める市町村は、合計 <u>110</u> 市町村（前回比+12）と前回よりもさらに増加している。</p> <p>2%以上の市町村をみると、<u>113</u> 市町村（前回調査比△1）と前回よりやや減少したものの、ほぼ全県が無店舗販売の影響圏にある（図 155）。</p>
122 ページ 2 行目	<p>衣料品の利用率が20%以上は、旧奈川村（松本市）（100.0%）、北相木村（37.5%）、旧上山田町（千曲市）（34.7%）、旧清内路村（阿智村）（33.3%）、富士見町（27.5%）、旧三岳村（木曽町）（26.7%）、旧開田村（木曽町）（25.0%）、旧戸隠村（長野市）（25.0%）、旧本城村（筑北村）（24.4%）、原村（24.1%）、木祖村（23.2%）、野沢温泉村（21.9%）、諏訪市（20.5%）、小海町（20.5%）、小川村（20.3%）、根羽村（20.0%）の<u>16</u>市町村（前回調査比+7）となり、前回調査より増加している。10%以上の利用率は、<u>78</u>市町村（前回調査比+33）、5%以上の市町村は、<u>95</u>市町村（前回調査比+4）と増加している。</p> <p>このうち市部で10%を超えたのは、諏訪市（20.5%）、茅野市（19.4%）、中野市（合併前）（16.0%）、旧更埴市（千曲市）（15.3%）、飯山市（15.3%）、上田市（合併前）（14.5%）、岡谷市（13.6%）、伊那市（合併前）（13.3%）、松本市（合併前）（11.9%）、長野市（合併前）（11.2%）、塩尻市（合併前）（10.7%）、須坂市（10.3%）、佐久市（合併前）（10.0%）の<u>13</u>市、5%を超えたのは、小諸市</p>	<p>衣料品の利用率が20%以上は、旧奈川村（松本市）（100.0%）、<u>旧美麻村（大町市）（80.0%）、北相木村（37.5%）、旧上山田町（千曲市）（34.7%）、旧清内路村（阿智村）（33.3%）、富士見町（27.5%）、旧三岳村（木曽町）（26.7%）、池田町（25.2%）、旧開田村（木曽町）（25.0%）、旧戸隠村（長野市）（25.0%）、旧本城村（筑北村）（24.4%）、原村（24.1%）、大町市（合併前）（24.0%）、木祖村（23.2%）、野沢温泉村（21.9%）、白馬村（21.8%）、諏訪市（20.5%）、小海町（20.5%）、小川村（20.3%）、根羽村（20.0%）</u>の<u>20</u>市町村（前回調査比+11）となり、前回調査より増加している。10%以上の利用率は、<u>84</u>市町村（前回調査比+39）、5%以上の市町村は、<u>100</u>市町村（前回調査比+9）と増加している。</p> <p>このうち市部で10%以上は、<u>大町市（合併前）（24.0%）、諏訪市（20.5%）、茅野市（19.4%）、中野市（合併前）（16.0%）、旧更埴市（千曲市）（15.3%）、飯山市（15.3%）、上田市（合併前）（14.5%）、駒ヶ根市（13.8%）、岡谷市（13.6%）、伊那市（合併前）（13.3%）、松本市（合併前）（11.9%）、長野市（合併前）（11.2%）、</u></p>

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
	(9.3%)、飯田市(合併前)(9.3%)の2市となり、合計で <u>15</u> 市(前回調査比 <u>-1</u> )となり、衣料品における無店舗販売の拡大がさらに進んでいることが分かる(図156)。	塩尻市(合併前)(10.7%)、須坂市(10.3%)、佐久市(合併前)(10.0%)の <u>15</u> 市、5%を超えたのは、小諸市(9.3%)、飯田市(合併前)(9.3%)の2市となり、合計で <u>17</u> 市(前回調査比 <u>+1</u> )となり、衣料品における無店舗販売の拡大がさらに進んでいることが分かる(図156)。
122 ページ 17 行目	<p>前回調査同様、6商品群の中で、身の回り品の無店舗販売の利用率が最も高かった。前述の通り、旧清内路村(阿智村)(100.0%)、旧奈川村(松本市)(100.0%)、王滝村(66.7%)、北相木村(50.0%)、旧長門町(長和町)(47.6%)、富士見町(44.3%)、旧開田村(木曽町)(40.7%)、松川町(37.5%)、旧上山田町(千曲市)(37.0%)、辰野町(36.7%)、飯島町(33.3%)、旧浪合村(阿智村)(33.3%)、泰阜村(33.3%)、旧三岳村(木曽町)(33.3%)、小川村(32.4%)、岡谷市(32.0%)、旧檜川村(塩尻市)(31.8%)、下諏訪町(31.0%)、旧梓川村(松本市)(30.9%)、麻績村(30.4%)の<u>20</u>市町村では、利用率が30%を超えている。一方、10%以上の利用率は<u>98</u>市町村(前回調査比<u>+3</u>)、5%以上の利用率では<u>106</u>市町村(前回調査比<u>+2</u>)と、前回よりも増加している(図165)。</p> <p>身の回り品の中で最も利用率が高い「化粧品」に限ってみると、旧奈川村(松本市)(100.0%)で最も高く、次に、旧三岳村(木曽町)(66.7%)、旧長門町(長和町)(57.1%)、旧浪合村(阿智村)(50.0%)で、利用率が50%以上となった。30%以上の利用率は、<u>22</u>町村(前回調査比<u>+5</u>)、10%以上では<u>98</u>市町村(前回調査比<u>+1</u>)と<u>やや</u>増加した(図157)。</p>	<p>前回調査同様、6商品群の中で、身の回り品の無店舗販売の利用率が最も高かった。前述の通り、旧清内路村(阿智村)(100.0%)、旧奈川村(松本市)(100.0%)、王滝村(66.7%)、北相木村(50.0%)、旧長門町(長和町)(47.6%)、富士見町(44.3%)、旧開田村(木曽町)(40.7%)、<u>松川村(37.9%)</u>、<u>大町市(合併前)(37.8%)</u>、松川町(37.5%)、旧上山田町(千曲市)(37.0%)、辰野町(36.7%)、飯島町(33.3%)、旧浪合村(阿智村)(33.3%)、泰阜村(33.3%)、旧三岳村(木曽町)(33.3%)、小川村(32.4%)、岡谷市(32.0%)、旧檜川村(塩尻市)(31.8%)、下諏訪町(31.0%)、旧梓川村(松本市)(30.9%)、麻績村(30.4%)の<u>22</u>市町村では、利用率が30%を超えている。一方、10%以上の利用率は<u>103</u>市町村(前回調査比<u>+8</u>)、5%以上の利用率では<u>111</u>市町村(前回調査比<u>+7</u>)と、前回よりも増加している(図157)。</p> <p>身の回り品の中で最も利用率が高い「化粧品」に限ってみると、旧奈川村(松本市)(100.0%)で最も高く、次に、旧三岳村(木曽町)(66.7%)、旧長門町(長和町)(57.1%)、旧浪合村(阿智村)(50.0%)で、利用率が50%以上となった。30%以上の利用率は、<u>24</u>市町村(前回調査比<u>+7</u>)、10%以上では<u>103</u>市町村(前回調査比<u>+6</u>)と増加した。</p>
123 ページ 図 155	<p>無店舗販売の利用《全品目平均》データ：</p> <p>大町市(合併前) <u>0.5% (2%未満)</u></p> <p>池田町 <u>0.9% (2%未満)</u></p> <p>松川村 <u>1.4% (2%未満)</u></p> <p>旧八坂村(大町市) <u>1.9% (2%未満)</u></p> <p>旧美麻村(大町市) <u>0.0% (2%未満)</u></p> <p>白馬村 <u>6.3% (5%以上 8%未満)</u></p>	<p>無店舗販売の利用《全品目平均》データ：</p> <p>大町市(合併前) <u>23.7% (15%以上)</u></p> <p>池田町 <u>17.7% (15%以上)</u></p> <p>松川村 <u>24.1% (15%以上)</u></p> <p>旧八坂村(大町市) <u>3.7% (2%以上 5%未満)</u></p> <p>旧美麻村(大町市) <u>21.1% (15%以上)</u></p> <p>白馬村 <u>20.5% (15%以上)</u></p>

令和6年度長野県商圈調査報告書 正誤表

該当箇所	誤	正
	小谷村 <u>1.9% (2%未満)</u>	小谷村 <u>13.0% (10%以上 15%未満)</u>
124 ページ 図 156	無店舗販売の利用 ≪衣料品≫データ： 大町市（合併前） <u>0.7% (5%未満)</u> 池田町 <u>0.8% (5%未満)</u> 松川村 <u>1.7% (5%未満)</u> 旧美麻村（大町市） <u>0.0% (5%未満)</u> 白馬村 <u>9.7% (8%以上 10%未満)</u> 小谷村 <u>0.0% (5%未満)</u> 旧安曇村（松本市） <u>2.9% (5%以上 8%未満)</u>	無店舗販売の利用 ≪衣料品≫データ： 大町市（合併前） <u>24.0% (20%以上)</u> 池田町 <u>25.2% (20%以上)</u> 松川村 <u>17.4% (15%以上 20%未満)</u> 旧美麻村（大町市） <u>80.0% (20%以上)</u> 白馬村 <u>21.8% (20%以上)</u> 小谷村 <u>13.2% (10%以上 15%未満)</u> 旧安曇村（松本市） <u>2.9% (5%未満)</u>
125 ページ 図 157	無店舗販売の利用 ≪身の回り品≫データ： 大町市（合併前） <u>0.0% (5%未満)</u> 池田町 <u>1.4% (5%未満)</u> 松川村 <u>1.5% (5%未満)</u> 旧八坂村（大町市） <u>0.0% (5%未満)</u> 白馬村 <u>8.0% (8%以上 10%未満)</u> 小谷村 <u>0.0% (5%未満)</u>	店舗販売の利用 ≪身の回り品≫データ： 大町市（合併前） <u>37.8% (20%以上)</u> 池田町 <u>25.0% (20%以上)</u> 松川村 <u>37.9% (20%以上)</u> 旧八坂村（大町市） <u>5.9% (5%以上 8%未満)</u> 白馬村 <u>20.0% (20%以上)</u> 小谷村 <u>19.5% (15%以上 20%未満)</u>
127 ページ 13 行目	一方、大規模スーパーの利用が低い市は、長野市（合併前）（11.9%）佐久市（合併前）（14.4%）、	一方、大規模スーパーの利用が低い市は、長野市（合併前）（11.9%）、佐久市（合併前）（14.4%）、
132 ページ 13 行目	一般小売店の利用割合は、佐久地域（12.7%）が前回比較で6.1ポイント増と最も増加し、長野地域（18.1%）、上小地域（15.3%）、北信地域（14.6%）、松本地域（13.3%）、木曽地域（10.1%）を含めた6地域で前回よりも増加した（図 167）。	一般小売店の利用割合は、佐久地域（12.7%）が前回比較で6.1ポイント増と最も増加し、長野地域（18.1%）、上小地域（15.3%）、北信地域（14.6%）、松本地域（13.3%）、木曽地域（10.1%）、諏訪地域（10.1%）を含めた7地域で前回よりも増加した（図 167）。
132 ページ 20 行目	一般小売店の利用割合は、木曽地域（5.8%）が最も高くなった。しかし、他の地域では5%を下回り、最も低かった大北地域では0.0%であった（図 170）。	一般小売店の利用割合は、木曽地域（5.8%）が最も高くなった。しかし、他の地域では5%を下回り、最も低かった北信地域、大北地域では0.0%であった（図 170）。
138 ページ	インターネットを利用して購入した商品について（複数回答）グラフ 項目表記 5 項目目 <u>飲食料品（生鮮食料品、一般食料品など）</u> 6 項目目 <u>その他（贈答品、チケット類など）</u>	インターネットを利用して購入した商品について（複数回答）グラフ 項目表記 5 項目目 <u>その他（贈答品、チケット類など）</u> 6 項目目 <u>飲食料品（生鮮食料品、一般食料品など）</u>